

データ通信

- データ通信について 404
- ご使用になる前に 405
- データ通信の準備の流れ 406
- ATコマンドについて 406
- CD-ROMについて 406
- ドコモケータイdatalinkの紹介 406

データ通信について、詳細は付属のCD-ROM 内のPDF版「データ通信マニュアル」をご覧ください。PDF版「データ通信マニュアル」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。

ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照願います。

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、TOP画面が表示されます。[取扱説明書] [データ通信マニュアル(PDFファイル)]をクリックします。何らかの理由によりTOP画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] [FOMA_SH903iTV]を選んで右クリックし、[エクスプローラ]をクリックし、[manual]をダブルクリックし、[SH903iTV_J_Manual.pdf]をダブルクリックします。

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信について

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA 端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA 端末をmusea、sigmarion、sigmarion と接続してデータ通信を行うことができます。musea、sigmarionを使用する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページを参照してください。
- FOMA 端末は、Remote Wakeupには対応していません。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使いかたができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信できます(通信環境や、電波などが混み合った状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です)。

パケット通信はFOMA 端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。

データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

FOMA 端末では、パソコンなどによるパケット通信と音声電話を同時に利用できます(※P.364)。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。

64Kデータ通信はFOMA 端末とパソコンなどを接続して、各種設定を行うと利用できます。データBOXコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

長時間通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

FOMA USB接続ケーブル(別売)や赤外線を使ってデータを転送、交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。

FOMA 端末と他のFOMA 端末や携帯電話を接続する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどを接続する場合は、赤外線通信とFOMA USB接続ケーブルを使う方法があります。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは、FOMAパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダ、または接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA 端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブルに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、前述の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況などにより通信ができないことがあります。

お知らせ

- パケット接続を行う場合は、FOMA 端末と接続する機器がJATE(財団法人電気通信端末機器審査協会)の認定品である必要があります。

ご使用になる前に

動作環境の確認

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境	
	通信設定ファイル FOMA PC設定ソフト	FirstPass PCソフト
パソコン 本体	PC/AT互換機 USBポート(USB仕様 1.1/2.0に準拠)が必要	PC/AT互換機
OS	Windows 2000、Windows XP(各日本語版)	
必要 メモリ	Windows 2000:64MB 以上 Windows XP:128MB 以上	Windows 2000:32MB 以上 Windows XP:128MB 以上
ハード ディスク 容量	5 MB以上の空き容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	-	Windows 2000: Internet Explorer 5.5 以上 Windows XP:Internet Explorer 6.0以上

必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」と「FirstPass PCソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用にならない場合があります。また、上記の動作環境以外のご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA 端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA USB接続ケーブル(別売)またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)
- CD-ROM[®] FOMA SH903iTV用CD-ROM(付属)

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」または「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書では、「FOMA USB接続ケーブル」の場合で説明しています。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

データ通信用語集

APN(Access Point Name)

インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uは「mopera.net」、mopera!は「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

cid(Context Identifier)

FOMA 端末にAPNを登録するときに割り当てられる登録番号。FOMA 端末では1番から10番まで使えます。

DNS(Domain Name System)

ドメインネーム(例:nttdocomo.co.jp)を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

IrDA(Infrared Data Association)

赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

IrMC(Ir Mobile Communications)

携帯電話どうしやPDA(携帯情報端末)間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

OBEX(Object Exchange)

データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

QoS(Quality of Service)

サービスの品質、通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA 端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

W-CDMA

世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム(IMT-2000)の1つ。FOMA 端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

W-TCP

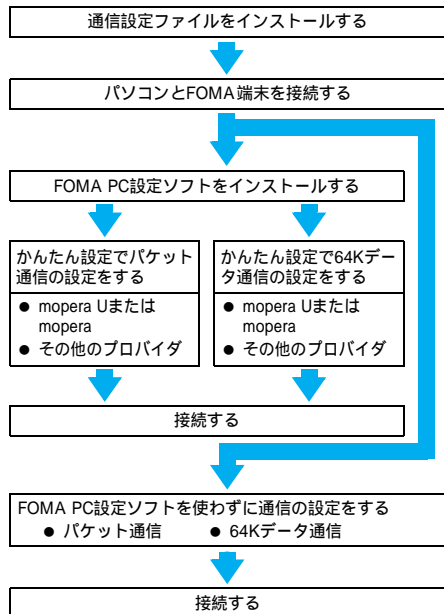
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA 端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

パソコンの管理者権限を持ったユーザー

OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。



FOMAでインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U（お申し込み必要）」が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもごございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。

通信設定ファイルについて

FOMA 端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、付属のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフト / FirstPass PCソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA 端末とパソコンを接続して行うパケット通信や、64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を、簡単に行うことができます。また、FirstPass PCソフトは、FirstPass対応のFOMA 端末より取得したユーザ証明書を利用してパソコンのWebブラウザからFirstPass対応サイトにアクセスできるようにしたものです。詳しくは付属のCD-ROM内のFirstPassManualをご覧ください。「FirstPassManual（PDF形式）」をご覧ください。なお、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA 端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA 端末が動作します。ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMについて

取扱説明書付属のCD-ROMには、FOMA 端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「データ通信マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

収録ソフト / PDF

- SH903TV通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- PDF版「データ通信マニュアル」/「Manual for Data Communication」
- PDF版「区点コード一覧」/「KutenCode List」
- Adobe® Reader®7.0
- mopera Uのご案内

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告はInternet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。[はい]をクリックしてください。

画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境によって異なる場合があります。



ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属されているCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。<http://datalink.nttdocomo.co.jp/>

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途FOMA USB接続ケーブル（別売）の購入が必要となります。